

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社
支社長 阪本 未来子 殿

東日本旅客鉄道労働組合
大宮地方本部
執行委員長 森田勝美

「2016大宮地本政策フォーラムの提言」に基づく申し入れ

大宮地本は、「2016大宮地本政策フォーラム」を開催し、働きがいある職場の創造や安全再確立に向けた提言がだされ討論を行いました。

働きがいある職場の創造について「環境・制度・施策」の視点で提言がされ、乗務員職場では女性の配属が増えている中、育児・介護・深夜帯免除等の制度はあるが、逼迫した要員問題や、一部管理者が制度を正しく理解されていないと言わざるを得ない発言等により活用しづらい環境にあることが出されています。また、駅職場からは駅舎改良に伴い業務スペースが狭隘になって働きづらい環境下もある中、安全確保やサービス向上に愚直に取り組んでいる実態も出されました。

安全再確立については、逼迫した要員状況下において世代交代が進む中、技術・技能継承の課題や、職場のプロをつくる視点から提言されました。各種施策により体制の見直しがおこなわれてきましたが、平成採用者の異動が多く「職場のプロ」を育成する上で課題となっている実態や、工務職場からは発生する度にルールが積み重ねられているが、職場実態に則したものとすべきとの声が、パートナー会社への出向を担っている組合員からも出されています。

政策フォーラムでの提言や職場で発生している問題に真摯に向き合い解決し「安全・健康・ゆとり」を確保し、働きがいを創出していく。そのことが安全・安定輸送を確保し、サービス品質の向上を実現する上で、極めて重要であるということを労使共通の認識とすべきと考えます。

安全第一主義・現場第一主義のもと、盤石な労使関係の構築を前提とし、課題や職場の声に向き合い、諸問題の解決と提言実現を目指し、下記の通り申し入れを行いますので、真摯な回答を求めます。

記

1. 駅建屋等の大規模改良・改修工事について、立案から竣工までの流れを具体的に示すこと。
また、施策に伴う建物や設備の改良等については現場で使用する組合員の声を反映すること。
2. 現業機関における浴室・トイレ・休養室等の設備状況について認識を明らかにすること。また、下記の職場について社員の意見を基に改修・改良を行い、衛生面の改善と働きやすい環境を構築すること。
 - ①小金井駅の男性用浴室をユニットバス2台とすること。
 - ②蕨駅の女性用寝室を増築すること。また、洗面所及び浴室の水質調査を実施すること。
 - ③南浦和駅の高架下休養室の更衣室を拡張すること。また、寝室・シャワー室を増設すること。
 - ④大宮新幹線保線技術センターの浴室を改善すること。
 - ⑤大宮新幹線電力技術センターの休憩スペースを確保すること。

3. 女性社員の各種制度の活用実績における成果と課題を明らかにすること。また女性活躍推進に踏まえ、職場において各種制度を理解し、女性が働きがいを持てる環境を整えること。
4. 二重安全措置の導入におけるこれまでの取り組みについて、大宮支社としての見解を示すこと。また、今後の安全諸設備新設計画について具体的に明らかにすること。
5. 東日本大震災以降、大宮支社として大規模災害発生時を想定して取り組んできたこと及び、社員教育や地域との連携に対する考え方について明らかにすること。また、災害時に地域と連携を図り社員が安全に行動できる防災教育を強化すること。
6. 各系統における現業機関事務職の今後の人材育成について、大宮支社の考え方を明らかにすること。また、乗務員区所における輸送総合システムの教育を定期的に受けられるようにすること。

以上